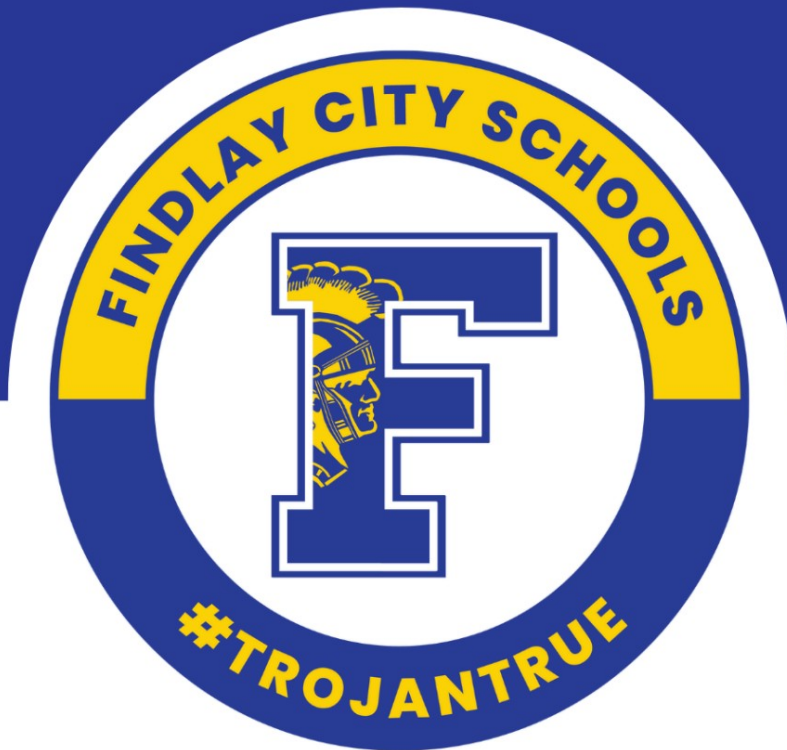


DONNELL MIDDLE SCHOOL STUDENT HANDBOOK



目次

いらっしゃいませ	4
アシスタンス	4
学生の期待	6
積極的な行動介入と支援	6
学生規律と行動規範	7
ドネル学生行動規範	8
出席	17
競技資格	22
自転車	22
バス	22
カフェテリアの期待	23
化学健康政策	23
大学単位プラス	24
拘留	26
ディレクトリ情報と学生記録	26
フィールドトリップ	26
無料または割引のランチ	26
表現の自由	26
評価基準	27
ホール&パス	27
医療サービス	28
ヘルプセッション	28
優等生名簿	28
悪天候	29
未完了	29
図書館	29

ロッカー	29
落とし物	30
ニュース記事と写真リリース	30
保護者/生徒の金銭的義務と罰金	30
個人財産	30
学生の進級・維持	30
トイレ	31
学校カウンセリングサービス	31
学校保険	31
学校の写真	31
学校の安全と訓練	32
学校用品	32
搜索と押収	32
標識掲示ポリシー	33
学生活動/紛争	33
監視カメラ	33
テクノロジー	33
電話/携帯電話	33
教科書	33
転校	33
訪問者	33
労働許可証	33

ドネル中学校へようこそ

ドネル中学校の職員一同、皆さんが素晴らしい一年を迎えることを心より歓迎いたします。中学校生活を通して、皆さんは様々な面で成長し、変化していきます。教職員一同、皆さんが成熟した責任ある市民へと成長できるよう、全力でサポートいたします。変化や新しい経験は、様々な疑問や不安を抱かせるものです。教職員一同、皆さんのことを心から願っています。遠慮なくご質問ください。また、利用可能なサポートはすべて活用してください。さらに、各教員から教室のルールをお渡しする場合があります。ドネル中学校の健全で安全な学習環境を維持するために、ハンドブックをよくお読みください。

フィンドレー市立学校 ミッションステートメント

優れた学業成績、多様な機会、真の帰属意識を通じて、すべての生徒の夢を実現します。

アシスタンス

フィンドレー市立学校は、保護者の皆様からお子さまの教育に関するご質問やご懸念に常に耳を傾けるオープンドアポリシーを掲げています。授業の指導やお子様の学業成績についてご心配な点がございましたら、まずは担任の先生にご連絡ください。さらにサポートが必要な場合は、校長先生または副校長先生にご連絡ください。お子様の社会的または情緒的な問題でご心配な点がございましたら、校長先生、副校長先生、または進路指導カウンセラーにご連絡ください。ご支援いただいたり、適切な地域機関をご紹介しますりいたします。学区に関する一般的なご質問やご懸念は、教育長または副教育長先生までお問い合わせください。ご家庭と学校が協力することで、お子さまの学校生活は充実したものとなります。ご質問やご懸念がございましたら、お気軽に電話ください。

保護者の方は、お子様の学習状況と成績をオンラインで確認できます。初回ログインには登録キーが必要です。登録キーはfcs.orgの「Families & Students: ProgressBook」から取得できます。

保護者アクセスサイトはこちらです。ProgressBookの成績に関するご質問は、担当の先生またはカウンセラーまでお問い合わせください。

教師、管理者、カウンセラー、その他の学校職員は、不安を抱える生徒を支援するために尽力しています。学校について何か不安なことがあれば、教師または学校関係者にご相談ください。

アンディ・ハットン博士 学長 419.425.8212	クリスタ・クレイツ・ミラー副学長 419.425.8202	ケイティ・アボット副教育長 教育学習課 419.425.2569
バーバラ・タルディブオノ	主要	419.425.8240
マット・ハーブ	副校長	419.425.8241
ライリー・デルベン	カウンセラー (AK)	419.429.3708
クリスティン・ビショップ	カウンセラー (LZ)	419.429.3703

988 ライフライン

精神的な問題、精神的苦痛、アルコールや薬物使用の懸念、あるいはただ誰かに話を聞いてほしい場合は、988 に電話してください。カウンセラーが対応いたします。あなたは一人ではありません。

安全を守りましょう。声を上げましょう！

フィンドレー市立学校は、生徒のいじめや校内暴力の抑制と、すべての生徒にとって前向きな学習環境の提供に全力で取り組んでいます。その一環として、いじめ、自殺、暴力、その他の安全上の脅威に関する懸念を記録し、対応するための「Stay Safe. Speak Up! 生徒安全報告システム」(PublicSchoolWORKS提供)を提供しています。

このシステムにより、生徒、保護者、教職員は、次の 3 つの方法で安全上の懸念を学校関係者に提出できます。

1. モバイルアプリ。Stay Safe. Speak Up! モバイルアプリをダウンロードし、FCS独自の地区コードを入力すると、スマートフォンから直接報告を送信できます。地区コード :FCS
2. 電話。1-866-547-8362 に電話して音声メッセージを残すか、訓練を受けたオペレーターと直接話してください。
学生が個人的な緊急事態に対処するために助けを必要とする場合、担当者はさまざまな全国危機ホットラインに連絡することができます。
3. オンライン。ホームページ上の「Stay Safe. Speak Up!」ボタンをクリックして、オンラインフォームにアクセスしてください。

助けが必要なら、2-1-1にダイヤルしてください

2-1-1は、地域社会で助けを求めたり、助けを与えたりするための無料かつ秘密厳守の方法です。1回の電話だけで、24時間365日、情報や紹介に簡単にアクセスできます。2-1-1は、食料、シェルター、保育、心身の健康サービス、高齢者や障害者への支援、移民への支援など、保健福祉サービスや福祉サービスに繋がります。

専門家の方は2-1-1または1-800-650-HELP (4357)にお電話ください。聴覚に障害のある方は7-1-1にお電話ください。

www.hancockcounty2-1-1.org

あなたやあなたの知り合いは助けが必要、ストレスを感じている

か、話をしたいと思っています

せんか？

お電話ください（24時間年中無休）：

1-888-936-7116 これは、話を聞いて支援する無料の危機ホットライン番号です。

学生の期待

ドネルの学生には、高い期待を寄せています。他者とその財産に礼儀正しく敬意を払い、時間厳守、協力的、秩序正しく、そしてすべてのガイドラインと手順に従うことが求められます。私たちは学ぶためにここにいるのだということを理解してください。定められた規則や手順に違反した者は、公正かつ毅然とした態度で迅速に処罰されます。すべての学生には、適正手続きを受ける権利が保障されます。

フィンドレーの学生向けに以下の一般的なガイドラインが制定されています。

1. 「7つの習慣」を日常生活に取り入れる。
2. 登校時、授業中、放課後、
そして学校行事でも。
3. 前向きな姿勢を維持する。
4. 教室での期待に従う。
5. 他人の権利、他人の財産、学校の財産を尊重する。
6. すべての生徒は適切な言葉遣いと服装を心がけることが求められます。

積極的な行動介入と支援

ポジティブ行動介入支援（PBIS）は、生徒の行動、学業、社会性、情緒、そして精神面の健康を支援するための、エビデンスに基づいた段階的な枠組みです。忠実に実践することで、PBISは社会情緒能力、学業成績、そして学校環境を改善します。これは、誰もが成長できる、ポジティブで予測可能、公平で安全な学習環境を作り出すための方法です。

PBIS とは何ですか？

積極的行動介入およびサポート（PBIS）は、すべての生徒の学業、社会性、感情、行動能力をサポートする多層的な連続体に沿って、証拠に基づく予防および介入の実践の選択と使用を最大限にするための実装フレームワークです。

明確な期待

学校コミュニティは、学校の使命と一致し、スタッフと生徒のあらゆる環境と状況での行動を導く、学校全体の包括的な行動期待を 3 ～ 5 つ (幼児期は 2 ～ 3 つ) 特定します。

包括的な指導

学校全体の期待事項について体系的かつ明確な指導が提供されるほか、学校環境の各領域で期待される行動を実践し、フィードバックを受ける機会も提供されます。

行動を認識し修正するための一貫したシステム

スタッフは、予測される行動について、肯定的/否定的比率4:1で、タイムリーかつ具体的なフィードバックを提供します。予期せぬ行動を最小限に抑え、対処するための積極的な対策として、以下の対策が講じられます。• 積極的な監督 • 積極的なスケジュール
設定 • 論理的な結果と再指導 • 行動への対応に関する明確な手順 • 行動のきっかけを排除するための支援的な環境

支援的な文化

正確かつ持続的な実践を可能にするため、学区全体および学校全体のシステムを構築しました。チームはデータに基づき意思決定を行い、すべての生徒に効果的な学業面および行動面の多層的な支援システムを提供する学校インフラの構築に注力しています。目標達成度と目標達成度を測るため、進捗状況のモニタリングを実施しました。

学生規律と行動規範

自制心は、教育において教えるべき最も重要な教訓の一つです。教科として扱われることはありません。しかし、規律は教育システム全体の根底にあり、自制心、人格、そして秩序を育みます。自制心は、善良な行いと他者への適切な配慮の鍵となります。

承認された懲戒処分には、口頭または書面による警告、スクールカウンセラーへの紹介、調停、保護者との面談または面談、昼食の制限、居残り、夜間学校、校内課題 (ISA)、校外停学 (OSS)、緊急退学、および/または退学が含まれます。すべての生徒は、公正かつ一貫した方法で懲戒処分を受けます。以下の行動規範は、生徒が学校敷地内、学校主催の活動、またはその他学校関係者の権限の対象となる場合に適用されます。これらの規範は、学校敷地外であっても、不正行為が学区職員または学区職員、あるいはその所有物に向けられた場合に適用されます。

学生規律違反は、違反の重大性に応じて分類されます。

特定の違反には、即時停学または退学勧告のいずれか、あるいは両方が科せられます。その他の違反には、上記の懲戒処分、および/または課外活動 (例: 激励会、ダンスパーティー、スポーツイベントへの参加、その他の学校からの表彰) の剥奪が科せられる場合があります。ISA課題は正当な欠席としてカウントされ、生徒は指定された時間内に欠席した課題を補習することができます。OSSも正当な欠席としてカウントされます。OSSの生徒は、欠席した課題、テスト、小テストを補習することができます。

OSS が課された場合、生徒は学校や課外活動に参加できず、担当の校長の裁量で授業の補習または部分的な単位取得ができます。

注: 学校外で退学または停学処分を受けた生徒は、停学/退学期間中、フィンドレー市立学校の敷地内に入ることはいけません。平日の夜間授業は午後 2 時 35 分から午後 5 時までです。出席しない場合は停学となる場合があります。行動規範に違反した生徒を、教育長、校長、または副校長は最長 10 日間停学にすることができます。教育長は生徒を最長 80 日間、場合によっては 1 年間、学校から退学させることができます。

非暴力声明

良き行動は、他者の権利を尊重し、配慮することに基づいています。生徒は、他者の権利を侵害しないよう行動することが求められます。ドネル中学校の生徒は、校則を遵守し、学校職員の指示に従います。校内および／または学校関連行事において、定められた校則に従わない生徒、または学校職員からの合理的な要求に従わない生徒は、承認された生徒規律規則に従って処分されます。ドネル中学校は、生徒による暴力的、妨害的、または不適切な行為を容認しません。そのような行為は、生徒行動規範に定められているとおり禁止されています。

ドネル中学校コミュニティの一員として、私は他者に敬意と親切を示し、紛争を平和的に解決し、適切な言葉遣いをし、安全で脅迫的な行動をとらないことを誓います。上記の支援として、カウンセラー、校長、教師、その他の学校職員、そして調停といったリソースが利用できることを認識しています。

出場停止/不参加ガイドライン

課外活動や学校行事（ダンス、集会、激励会など）は権利ではなく特権です。課外活動は、学校で適切な行動をとる生徒のみが参加できます。不適切な行動により停学処分を受けた生徒は、校舎管理者の決定により、一定期間、フィンドレー校の課外活動に参加できない場合があります。この規定に基づく参加資格は、校長が全生徒に付与します。上記のガイドラインに加え、フィンドレー市立学校のトレーニングルールがすべての運動選手に適用されます。

ドネル学生行動規範

1. 学術上の不正行為

学生は、不正行為、不正アクセス、コンピュータへの不正使用、著作権侵害、盗作など、学業上の不正行為を行ってはなりません。適切な証拠書類を伴わずに他者または団体（ChatGPTを含むがこれに限定されない人工知能）のアイデアや言葉を使用することは、盗作と呼ばれる一種の文学的窃盗行為です。この規定に違反した学生は、問題の課題に対して0点の評価を受け、別の課題の提出が求められるほか、その他の懲戒処分が科される可能性があります。

2. 改ざんまたは偽造されたパス／書類すべ

ての生徒は、学校当局の要請があった場合、速やかに正確な身元確認を行わなければなりません。生徒は、偽造、改ざん、または不正な書類の使用を行ってはなりません。また、他人の名前を偽造したり、時間、日付、成績、住所、その他の情報を口頭または書面で偽造したりしてはなりません。

3. いじめと新入生へのいじめ

生徒は、他の生徒または他者をいじめたり、しごき立てたりしてはならない。しごき立てとは、生徒または他の組織への入会勧誘行為、あるいは被害者を含む他者に対し、精神的または身体的危害を引き起こす、または引き起こす重大な危険を生じさせる行為を行うこと、または強制することを指す。

いじめ、嫌がらせ、脅迫とは、生徒が他の特定の生徒に対して複数回、書面、口頭、電子的、または身体的な意図的な行為を指します。この意図的な行為には、交際関係における暴力も含まれます。これらの行為は、他の生徒に精神的または身体的危害を与え、かつ、その生徒にとって威圧的、脅迫的、または虐待的な教育環境を生み出すほど深刻、持続的、または蔓延している場合を指します。

この行為は、学校の敷地内、スクールバス内、または学校主催の活動では禁止されています。写真を含む学校出版物は著作権で保護されており、書面による許可なしの写真の使用は固く禁じられています。ネットいじめを含むいじめ行為を行った生徒は、停学処分を含む処分を受ける可能性があります。

いじめを報告した後に嫌がらせや報復を受けることを恐れる生徒は、副校長またはスクールカウンセラーに相談してください。生徒はいじめの事実を学校職員に報告することができ、匿名でも報告できます。また、419-429-8994に電話していじめの報告をすることもできます。いじめについて虚偽の報告をした生徒は、停学処分を受ける可能性があります。

4. 私有財産への損害

生徒は、私有財産（学校敷地内外、または学校行事における学校職員の私有財産を含む）に損害を与えたり、煽動したり、損害を与えようとしたりしてはなりません。損害を受けた財産の交換または修理には、学校による処分に加えて費用が課される場合があります。

5. 学校施設への損害

生徒は、学校の建物、敷地、設備、資材などを含む学校の財産に損害を与えたり、煽動したり、損害を与えようとしたりしてはなりません。損害を受けた財産については、学校による処分に加えて、交換または修理費用が課される場合があります。

6. 危険な活動、武器、器具

生徒は、生徒、教師、その他の学校職員の健康または安全を脅かす、危険にさらす、または脅かす傾向のある活動に従事してはなりません。生徒は、武器または暴力手段とみなされる可能性のあるいかなる物品も所持、取り扱い、譲渡、または隠匿してはなりません。類似の武器は実在の武器として扱われます。

銃器の定義は、爆発物の作用によって発射体を発射するように設計されているか、または容易に改造できる武器（スターターガンを含む）、そのような武器のフレームまたはレシーバー、銃器のマフラー、銃器のサイレンサー、または破壊装置（

18 USCA第921条)には、爆発性、焼夷性、または有毒ガス、爆弾、手榴弾、4オンスを超える推進剤を充填したロケット、1/4オンスを超える爆発性または焼夷性充填剤を充填したミサイル、地雷、または上記のいずれかに類似する装置が含まれます。ナイフとは、鋭利な刃を有し、深刻な身体的傷害を引き起こす可能性のある切断器具と定義されます。

次の両方に該当する場合、生徒は学校の敷地内、学校または校舎内、学校行事中、または学校の車両内で物体を所持することは禁止されます。

1. 当該物体が銃器と区別がつかない場合、当該物体が解雇される。
2. その人がその物体を所持しておりそれが銃器であることを示す、または、その物体を展示もしくは振り回してそれが銃器であることを示す。

州法の定義および本方針の趣旨において、「銃器と判別不能な物体」とは、銃器に関する専門的な訓練を受けていない一般の人にとって銃器と認識されるように製作、構築、または改造された物体を指します。• 本方針は、上記のいずれかを学校の敷地内、学校車両、または学校対抗競技会、課外活動、または学区

が主催するその他のプログラムや活動に持ち込む場合に適用されます。• このような行為の例としては、火災警報器、消火器、AED、SafeDefend ボックスの改ざん、安全対策またはセキュリティ対策の違反、その他地方自治体または連邦法に違反する可能性のある物品の持ち込みなどが挙げられます。

7. 学校の混乱

生徒は、行動、言葉、身振り、画像、テクノロジー、暴力、強制、威圧、脅迫、嫌がらせ、不服従、または度重なる非協力行為によって、すべてのカリキュラム、課外活動、運動、課外活動を含む教育プロセスを妨害または阻害してはなりません。生徒は教室などの学習エリアにのみ入室が許可され、正当な学校関連活動に従事していない限り、授業終了後は速やかに退校することが求められます。学校の妨害行為には、理事会、教育長、または校長が随時定めるその他の規則を遵守しないことも含まれます。

8. 服装、外見

ドネル中学校は、公平な教育へのアクセスと、生徒の個性を安全かつ健全に表現することを重視します。生徒は、生徒全体の健康、福祉、安全を確保し、敬意、前向きさ、そして非暴力的な生徒像を高める服装を心がけてください。そのため、高校における学習環境と安全条件を最大限に高めるため、以下の点に留意してください。

- 衣服およびアクセサリは、薬物、アルコール、タバコ、性行為、ギャング、冒瀆的な言葉、暴力などを暗示または助長するもの、あるいは民族、文化、宗教、人種、または法的に保護されているグループに不快感を与えるものであってはなりません。• 衣服およびアクセサリは、安全上の懸念を生じさせるもの（武器として使用可能なものを含む）であってはなりません。•

衣服およびアクセサリは、胸部、腹部、背中、および臀部を覆うものでなければなりません。タンクトップやカットオフシャツは、すべての下着、背中、胸部、および脇腹が覆われている場合にのみ許可されます。過度に肌の露出が多い衣服は、学校の環境に不適切とみなされます。

- 常に靴/サンダルを着用してください。• 帽子やその他の頭飾りは（特定の生徒の宗教で要求されない限り）、顔がはっきりと見え、他の人の視界を妨げないものでなければなりません。
- 学校管理者から特別な許可がない限り、サングラスやフードを着用することは許可されません。

- 装飾用の衣服として、スパイク付きのブレスレットやネックレス、または長いチェーン。• フェイスペイント、猫耳、眼帯、マスクなどのコスチュームは、管理者の承認がない限り許可されません
 - 教育プロセスに重大な支障をきたす合理的なリスクを生じさせる衣服やアクセサリ（衣装、フェイスペイントなどを含む）は許可されません。
- 学校側は、特別な行事など、例外を認める場合があります。• 生徒は、不適切な服装を隠したり、着替えた後、脱いだりするよう指示されるか、帰宅して適切な服装に着替えるよう求められる場合があります。服装規定に違反した場合、学校からの懲戒処分や、その日の残りの授業時間におけるISAP（国際学生自主学習プログラム）への参加につながる可能性があります。• ブックバッグ、ブリーフケース、ダッフルバッグ、ラップトップ/コンピューターバッグ、またはその他類似の物品
- 教科書を入れるハンドバッグなど、校舎に入るときや出るとき以外は、教室に持ち込んだり、廊下で持ち歩いたりしてはいけません。管理者の許可がない限り、スピリットウィーク/ドレスアップデー中はすべての服装規定を遵守しなければなりません。
- その他、運営側が不適切と判断した服装。

9. 懲戒処分の不履行学生は懲戒処分の不履行をしてはならない。

10. 虚偽の報告学生は、

学校職員による調査や懲戒処分につながるような虚偽の陳述、虚偽の告発、または虚偽の情報提供を行ってはなりません。また、法執行機関の介入につながる可能性のある、あるいは実際にそうなる可能性のある虚偽の報告や虚偽の申し立てを行ってはなりません。

11. 恐ろしい、屈辱的な、または不名誉な行為/無礼な行動

生徒は、書面、口頭、視覚、身振り、および／または技術的な手段を用いて、教師、生徒、またはその他の者を恐怖、侮辱、または恐怖、侮辱、または侮辱を与える可能性のある行為を行ってはなりません。生徒は、他の生徒、学校職員、および学校訪問者に対して無礼な態度を取ってはなりません。

12. ギャング活動の定

義：「ギャング」とは、違法行為の実行、ギャングの目に見える側面の誇示または伝達、あるいは規律違反行為の実行を目的とする2人以上の集団を指します。安全で暴力のない学校環境を確保するため、ドネル中学校ではギャングおよびギャング活動を以下の通り禁止します。

- 衣服、宝石、紋章、バッジ、その他の物品を着用、所持、使用、配布、展示、販売すること。
- ギャングへの所属、提携、または提携を示唆する証拠や反映となるシンボル、サイン、その他のアイテム。• ジェスチャーや握手、ギャングへの所属または提携を示す行為（言語的または非言語的を問わず）を行うこと。

- ギャングやギャング活動の利益を増進する行為に従事すること。これには以下が含まれますが、これに限定されま

せんが、次の行為は禁止されています。■「保護」のために金銭を要求したり、明示的または暗示的に、その他の違法または禁止行為で脅迫すること。■ギャング関連の落書きを描いたり、書いたり、タトゥーを入れたり、その他の方法で刻み込んだりすること。学校の敷地内または学校に持ち込まれた私物にメッセージ、シンボル、または標識を掲示すること。

- 暴力、恐喝、その他の違法行為、または本規約に違反する行為
学校の方針。
- 他人に対して身体的暴力を振るうよう勧誘すること。

13. 不服従/指示、方針、規則などの違反

生徒は学校職員による合理的な指示を無視したり、従うことを拒否したりすることはできません。
生徒は、教師、教育実習生、代用教師、教師補助員、校長、またはその他の認可された学校職員の監督下にある間は、その指示、方針、規則などに従わなければなりません。

14. 麻薬、アルコール飲料、カフェイン錠剤、興奮剤、市販薬または処方薬、およびその他の錠剤/物質生徒は、学校の建物内、学校の敷地内、または学校や学校主催の活動への

参加中に、ステロイド、麻薬、幻覚剤、アンフェタミン、カフェイン錠剤、バルビツール酸塩、マリファナ（ベイプデバイス、リキッド、または食用を含む）、アルコール飲料またはアルコール代替品として宣伝されている飲料、吸入剤、麻薬関連器具、その他の錠剤/物質、またはその他の精神を変える物質を、展示、所持、販売、販売済み、同席、伝達、伝達済み、隠蔽、購入、購入済み、使用、または使用させてはなりません。これには、処方薬および市販薬の所持、販売および/または配布が含まれます。学生は、偽造または類似の薬物を使用、所持、配布、配布済み、販売、購入、購入済み、または包装することはできません。

空のアルコール容器も学校敷地内への持ち込みは禁止されています。

偽造規制物質は次のように定義されます。

- 所有者の許可なく商標、商号、識別マークが表示されている、または容器やラベルに表示されている薬物。• 規制薬物として表示されている物質。• 規制薬物以外の物質で、合理的な人が

規制物質となる。

このポリシーに違反した場合の結果は、教育委員会ポリシー JFCH/JFCI およびその他の適用されるすべての懲戒ポリシーに従います。

市販薬または処方薬学生は市販薬または処方薬を所持、使用、譲渡、販売、または隠匿してはなりません。

生徒が学校で処方薬を服用する必要がある場合、保護者の方は医師の署名入りの医療同意書を提出してください。お預かりした薬は学校の事務室で登録・保管されます。

15. 許可されたエリア外/無断欠席/過度の欠席/遅刻

許可エリア外／不登校 生徒は、授業中は常に指定されたエリアにいなけりません。許可なく授業を抜け出すことを含め、授業時間中に意図的に学校または授業を欠席することは禁止されています。生徒は、学校職員の監督下に入った後は、指定された下校時間前に正式な許可なく、学校の敷地または指定された教育施設を離れることはできません。これには、授業中に許可なく車両を利用することも含まれます。

無断欠席/過度の欠席/遅刻については、理事会が採択した方針が適用されます。

16. 公共の場での愛情表現生徒は、学校の

敷地内、学校の保護下にある間、または学校関連の活動中は、身体的な愛情表現や不適切な身体的接触を行ってはなりません。

17. セクシャルハラスメント/デートDV教育委員会のウ

ェブサイトに掲載されている委員会方針 ACAA および規則 ACAA-R を参照してください。

学生は、学生または他の人とのデートDVやセクスティングに参加することはできません。

デートDVまたは交際相手への虐待とは、交際相手を支配するために、身体的、性的、言語的、または感情的な虐待を行ったり脅したりする行動パターンです。

18. テクノロジーコ

ンピュータテクノロジーとネットワークに関するガイドラインハ

ンドブック、理事会のポリシーEDE、規則EDE-Rに記載されているガイドラインに従わない学生は、ラボでの課題の完了、アカウントへのアクセス、インターネットの使用権を失います。また、追加の懲戒処分または法的措置の対象となる場合があります。

違反が複数回あった場合、当該学期、学年、または高校在学期間中、コンピュータの使用を禁止される可能性があります。いかなるコンピュータも、いつでも、いかなる理由でも、データ検索の対象となります。学校のコンピュータでは、いかなる時もプライバシー権は認められません。

インターネット フィルターを回避しようとしていることが判明した生徒は、FCS 技術協定に従って懲戒処分の対象となり、初犯の場合、生徒のコンピュータ ネットワークおよびインターネットへのアクセスが停止され、個人用テクノロジー デバイスを学校に持ち込むことが禁止される可能性があります。

携帯電話／個人用通信機器生徒がクラスメイト、教師、そし

て授業に積極的に参加できる学校環境を支援するため、フィンドレー市立学校教育委員会は、授業時間中の生徒による携帯電話の使用を制限することを決定しました。この方針の目的は、卓越した学力、多様な機会、そして真の帰属意識を通してすべての生徒の夢を叶えるという私たちの使命に基づき、フィンドレー市立学校の学習への重点を強化することです。

I.研究

研究によると、学校での携帯電話の使用は、生徒の成績と精神衛生に悪影響を及ぼすことが示されています。

携帯電話は生徒の学習の妨げとなり、学習効果の低下やテストの点数低下につながります。携帯電話の使用頻度の増加

携帯電話の使用は、子供たちのうつ病、不安、その他の精神疾患の増加につながっています。

II. 適用範囲このポ

リシーは、授業時間中に学校敷地内にいる生徒が携帯電話を使用する場合に適用されます。

III. 携帯電話の使用学生は携帯電

話を常時使用することは禁止されています。

IV. 例外このポリ

シーのいかなる条項も、オハイオ州改正法典第 3323 章に基づいて開発された学生の個別教育プログラム、または「1973 年リハビリテーション法」第 504 条 (29 USC 794) に基づいて開発された計画に記載されている目的で学生が携帯電話を使用することを禁止するものではありません。学生は、健康上の懸念を監視または対処するために携帯電話を使用できます。

V. 携帯電話の保管携帯電

話の使用が禁止されているときは常に、生徒は携帯電話を生徒用ロッカー、閉じたバックパック、学区が提供する保管装置などの安全な場所に保管しなければなりません。

6. 規律

生徒がこのポリシーに違反した場合、教師または管理者は、以下の段階的に厳しい懲戒処分を講じるものとします。

A. 残りの期間、生徒の携帯電話を学校の中央オフィスに保管する。

学校の日。

B. 生徒の携帯電話を学校の中央事務所に置き、生徒の親または保護者が受け取れるようにします。

C. 生徒の親または保護者と面談し、

学生の携帯電話の使用。

学生の違反は学期ごとにリセットされます。

七. ワイヤレスヘッドフォン : 生

徒はワイヤレスヘッドフォンの使用は許可されません。有線ヘッドフォンの使用は、学校職員の裁量により制限されます。

これは、オハイオ州議会法案 250 条 3313.753 の最近の修正に準拠しています。

セクスティングとは、ヌード、わいせつ、ポルノ、卑猥な画像、その他違法な写真画像を、電子データ転送またはその他の手段により所持、撮影、頒布、譲渡、または共有することを指します。これは州法および／または連邦法の下で犯罪を構成する可能性があり、適切な法執行機関に通報される場合があります。学校の敷地内、スクールバス、学校主催のイベント、または学校の学習環境を妨害するデートDVまたはセクスティングは禁止されています。

19. 窃盗生

生徒は、学区の財産や備品、または学区の他の生徒、教師、訪問者、または従業員の財産を持ち去ったり、持ち去ろうとしたりしてはなりません。

20. 脅迫

生徒は、校舎内または脅迫時に校内活動が行われている敷地内に対して、いかなる脅迫行為も行ってはなりません。脅迫行為には、爆破脅迫や、パニックを誘発したり、精神的、身体的、感情的な危害を与える可能性のある暴力脅迫などが含まれますが、これらに限定されません。

21. 脅迫/威嚇身体的危害を受ける可能

性があると他人に信じ込ませること（威嚇）。生徒は、生徒、教師、その他の学校職員、または訪問者に対して、身体的暴力で脅迫したり、いかなる手段によっても強制したりしてはなりません。生徒は、他の生徒または人物に対し、身体的暴力で脅迫したり、いかなる手段によっても生徒、教師、その他の学校職員、または訪問者を強制したりするよう促してはなりません。脅迫には、他の生徒または人物から金銭またはその他の貴重品をゆすったりするために使用される脅迫が含まれますが、これに限定されません。生徒は、脅迫、嫌がらせ、威嚇、または人、財産、または名誉への損害によって、生徒、学校職員、またはその他の人物に対して貴重品を手放すことを強要したり、強要しようとしてしてはなりません。

22. タバコ/ニコチン生徒は、

学区の管理下にあるエリア、または学区が監督する活動において、タバコ/ニコチンを含む物質またはデバイス、あるいは器具（電子タバコ、電子液体、ポーチ、ベイプデバイスを含むがこれらに限定されない）を展示、所持、販売、販売試み、存在、伝達、伝達試み、隠匿、購入、購入試み、使用、または使用させてはなりません。

「見張り」の役割を果たしたり、喫煙者を幫助したり教唆したりする学生は、禁煙規則違反者と同様に懲戒処分を受ける。

23. 交通すべての生徒は

バス運転手の指示に従い、基本的な安全規則を遵守するものとします。

24. 許可されていない身体接触

学校の敷地内または学校の管轄下の行事に参加中に、学校の生徒や職員、またはその他の人物に物理的に触れたり、殴ったりする行為。

他者の不正行為（喧嘩を含む）を扇動する生徒は、暴力禁止規定に違反した場合と同様に懲戒処分を受けることがあります。以下のいずれかのレベルに該当する生徒は、停学処分または退学勧告を受ける場合があります。

- レベル I - 学校の管轄下にある間、許可されていない接触（人対人または物による）、押す、突く、お互いまたは他の人への拘束。

- レベル II - 学校の管轄下にある間、2 人以上の生徒が身体的危害（喧嘩）を引き起こしたり、お互いまたは他の人に身体的危害を引き起こす恐れのある行動をとってはなりません。
- レベル III—生徒は他の人を攻撃しようとしたり故意に攻撃したりしてはならない[学校職員、学校の管轄下にある間、他の生徒に対して、危害を加えたり身体的傷害を与える意図の有無にかかわらず、身体的傷害を与える恐れのある行動をとること。

25. 不規則な行動不規則な

行動には、学校職員からの正当な要求に従うことを拒否することや、教室やその他の学校の混乱を引き起こすその他の行動が含まれますが、これらに限定されません。

26. わいせつまたは差別的な言葉、素材、行動、ジェスチャーの使用

生徒は、卑猥な言葉、下品な言葉、冒とく的な言葉、差別的な言葉を使用したり、不適切な身振りや行動をしたり、下品な物品を所持したりしてはなりません。注：差別的言葉とは、人種、肌の色、国籍、市民権の状態、経済的状态、婚姻状況、妊娠、性別（性的指向およびトランスジェンダーのアイデンティティを含む）、障がい、年齢、宗教、祖先、遺伝情報など、1 つ以上の特徴に基づいて個人またはグループを軽蔑する口頭または書面によるコメント、ジョーク、中傷のことと定義されます。身体的傷害、脅迫、または嫌がらせを扇動および誘発する目的で、学校の秩序と安全を脅かし、学校の学習環境に悪影響を及ぼします。その他の民族的脅迫には、喧嘩、破壊行為、脅迫などがあり、行動規範の 1 つ以上のセクションに基づいて処罰される可能性があります。

27. 卑猥な言葉/わいせつな言葉/罵り言葉の使用

学校敷地内では、卑猥な言葉やわいせつな言葉の使用は認められません。わいせつまたは中傷的な内容を含む、あるいは教育プロセスを妨害し、他者の考えや意見を表明または受け取る権利を侵害する可能性のある資料は、印刷、配布、または閲覧することはできません。

早期警告の裁判前会議

生徒の行動規範に継続的に違反する生徒に対する紹介プロセスには、教師と学校職員がそのような行動を示す生徒を特定し、生徒と家族にサポートと介入を提供し、必要に応じて追加のサービスを紹介することが含まれます。

生徒とその家族が複数回の試みにもかかわらず推奨されたサービスを受けない場合、または当該行動が学校の安全に重大なリスクをもたらす場合、学校は早期警告事前裁判会議を開始することがあります。当該行動が非常に懸念されるものであり、生徒の性格にそぐわないと判断された場合、個々の状況によっては、より早期の会議が必要となる場合があります。早期警告事前裁判会議の最終的な目標は、生徒と保護者が行動上の問題に対処できるよう支援し、前向きで安全な学校環境を促進し、行動の根底にある問題に対処するために必要な介入とサービスを提供することです。これは、ORC 2919.24、2151.02 B に記載されているガイドラインに準拠しています。

適正手続きと控訴

学校外停学、退学、および退学処分学校外停学、退学、および緊急

退学処分に関する適正手続きは、オハイオ州改正法典第3313.66条およびJGD、JGDA、JGE、JGF、JGF-R、JEGAを含むすべての関連委員会の方針に従います。学校内での代替措置については、適正手続きによる保証は一切ありません。停学期間は、停学処分が科された時点から1暦年を超えて延長することはできません。学校外停学処分が科された場合、生徒は学校または課外活動に参加することはできません。授業の課題は、担当校長の裁量により、単位または部分単位として補講される場合があります。

特定の課外活動からの生徒の停学処分に関しては、改正法典第3313.664条に規定されている以上の適正手続きによる保障は適用されません。学区長は、本方針または当該活動に適用されるその他の正式に公布された規則に違反した場合、他の懲戒処分とは別に、またはそれらの代わりに、生徒に対し、特定の課外活動またはすべての課外活動への参加を禁止することができます。

同様に、体育部長、関連コーチ、またはディレクターは、本方針または問題の活動に適用されるその他の正式に公布された規則の違反に対する懲戒処分とは別に、またはその代わりに、当該人物の責任範囲内にある特定の課外活動またはすべての課外活動を学生に対して禁止することができます。

不服申し

立て停学処分に対しては不服申し立てを行うことができます。副校長が停学処分を科した場合は、校長に不服申し立てを行います。校長が停学処分を科した場合は、教育長または指定校長に不服申し立てを行います。生徒は通知を受けた時点で停学処分を受けます。不服申し立てによって停学処分が取り消された場合、記録には変更が反映され、生徒はすべての課題を補習する権利を有する場合があります。

出席手続き

オハイオ州法では、正当な理由がない限り、生徒は毎日時間通りに登校することが求められています。保護者は、生徒が欠席する場合は、学校に欠席理由を通知することが法律で義務付けられています。学区では、保護者に対し、欠席当日の午前10時までに、出席ホットライン、出席管理アプリ、または学校事務室へのメール／電話で欠席を報告するよう義務付けています。欠席当日の朝に家庭と学校の間で連絡が取れなかった場合、保護者は生徒に欠席理由を説明したメモを学校に戻った直後に渡す必要があります。連絡が取れない場合、欠席は正当な理由のない欠席として記録されます。

長期欠席の場合、保護者の方は医師の指示を学校に必ずお知らせください。欠席理由を説明した医師の診断書は、医師の指示があった日から3日以内に書面で学校に提出してください。すべての専門機関による診断書は、署名入りの原本を提出してください。コピーやスタンプが押されたコピーは受け付けられません。

6年生から8年生までの1日の授業時間は7時間で、そのうち6.5時間は出席としてカウントされます。

オートコーラー

安全到着プロセスの一環として、事務職員が毎日欠席確認を実施しています。SafeArrivalでは、保護者の皆様が以下の3つの方法のいずれかでお子様の欠席を迅速かつ簡単に報告できます。

1. 保護者はフリーダイヤルで自動対話型電話システムに電話をかけることができます
(1-844-305-3755)に欠席の報告ができます。
2. 保護者はウェブサイト fcs.schoolconnects.com にログインしてポータル アカウントを認証し、欠席を報告したり連絡先情報を更新したりできます。
3. アカウントを認証し、iOSまたはAndroidデバイスを持っている保護者
欠席を報告するために使用できるアプリをダウンロードできます。

正当な理由による欠席/正当な理由のない欠席

正当な欠席の例としては次のようなものがあります。

- A. 個人的な病気（病気を証明する医師の診断書が必要になる場合があります）
- B. 家族の病気により、子どもの付き添いが必要になった場合
- C. 自宅隔離
- D. 家族の死（葬儀）
- E. 親/保護者の不在または無能力により自宅で必要な作業
- F. 正当な宗教的祝日の観察または祝賀
- G. 学区が承認した課外活動または課外活動に参加するための州外旅行（学年あたり最大4日間）
- a. 欠席により達成できなかった授業課題は、
学生
- H. 監督官が認める正当な理由
- I. 医療/カウンセリング/裁判所の予約

正当な理由のない欠席の例としては、次のようなものがありますが、これらに限定されるわけではありません。

- A. 交通機関（車の故障やバスの乗り遅れ）
- B. 登校拒否
- C. ベビーシッター
- D. 夜更かし / 寝坊
- E. 書面で確認されていない欠席
- F. 買い物、ヘアカット / 美容院の予約、家族の用事、釣り、狩猟など活動
- G. 学校の授業時間中に予定されている授業や行事への出席を拒否した場合
- 日。

出席は必ずしもドネル校内で行われるとは限りません。理事会の許可により、授業が行われている場所に生徒が出席している場合、生徒は出席しているとみなされます。理事会は、他の指導学習プログラムに割り当てられた生徒が、学習を行っている場所で担当職員に指導を求め、定期的に学習コースの目標達成に向けた進捗を示している場合、定期的に出席しているとみなすことがあります。

正当な理由のない欠席および無断欠席の手続き

- 児童が15時間以上無断欠席した場合、学校は児童と保護者に対し、不登校の法的結果を書面で通知し、児童を直ちに学校に通わせる責任があることを通知することができる（ORC Sec. 3321.19）

- 学校は、21時間以上の無断欠席をした児童の保護者に通知書を送付することができます。

保護者の出席を必要とする欠席、および5年生から12年生までの児童が保護者教育プログラムに参加すること（教育プログラムの目的は、児童の学校出席を強制するために保護者の関与を促すことである）（ORC Sec. 3321.19）学校は、25時間以上の無断欠席がある生徒の保護者に通知することができます。

欠席の記録、不登校の法的結果について書面で通知する。正当な理由なく連続30時間以上、1学期に42時間以上、1学年に72時間以上欠席した場合、児童は常習的不登校とみなされます。児童が常習的不登校とみなされた場合、学区は不登校介入計画を実施することができます（ORC Sec. 3321.19およびSec. 3321.191）。不登校に関する苦情の申し立てと支援（ORC Sec. 3321.191およびSec. 2151.27）

過度の無断欠席または正当な理由による欠席の手続き

生徒が1学期に38時間以上、または1学年度に65時間以上、正当な理由の有無を問わず欠席した場合、出席管理官は、通知義務が発生した欠席日の翌日から7営業日以内に、保護者に書面で通知することができます（ORC Sec. 3321.191）。この基準を満たした場合、生徒は出席監視（OSSを除く）の対象となります。

出席監視プログラムは、生徒の出席状況を綿密に監視し、欠席を最小限に抑え、生徒本人とその家族に支援を提供します。生徒は、欠席後2日以内に、氏名、欠席理由、欠席する日時を明記した、医療従事者、カウンセリング担当者、またはその他の公的機関（保護者の記録は除く）による欠席理由書を学校に提出する必要があります。

病気の生徒は、学校看護師によって学校を休むことが許可されることもあります。

生徒は、前年度の授業出席記録に基づき、学年度開始時に出席監視の対象となります。また、当該学年度中に、1学期に正当な理由の有無を問わず38時間以上、または1学年で65時間以上欠席した場合にも、出席監視の対象となります。校長／副校長、出席管理担当マネージャー、またはカウンセラーが生徒と面談し、出席状況を改善するための計画を立てます。転校生の出席状況は、出席監視の対象となった生徒と同じ基準で審査されます。

学校は介入戦略として、次のような適切な措置を講じることもできます。

1. 生徒を出席監視の対象とする
2. カウンセリングを提供する
3. 保護者に保護者教育への出席を要請または要求する
4. 調停プログラム
5. 個々のニーズに基づいて変化する欠席介入計画を実施する
6. 学生
7. 学生とその家族に適切な支援を提供するために、地域社会に紹介する。

6. 家庭の不在を減らすために

ORCのセクション2919.222、3321.20、または3321.38に基づいて法的措置をとる

不登校の問題のみを理由に、生徒は停学、退学、または退学処分を受けることはできません。教育委員会の規定により、生徒の出席状況に関する情報は教育局に報告されます。

計画的長期欠勤申請書

保護者の方から休暇や旅行等の理由で3日以上学校を欠席する許可を求められた場合は、「生徒休暇届」にご記入ください。欠席日の少なくとも1週間前までに、この届出書を出席管理事務所に提出してください。これにより、補習授業の手配や、欠席日を教師に通知するための特別な配慮が受けられます。学力テストは春に実施されますので、この時期に休暇を取らないようお願いいたします。

到着と退出

教師または管理者の監督下でない限り、生徒は午前8時15分まで建物内に入ることできません。朝食を希望する生徒は午前8時15分から建物内に入ることができます。

徒歩で通学する生徒は、早起きしてはいけません。早起きは、事前に教師の許可を得るか、保護者の方からの連絡があれば許可されます。下校時は、教師、コーチ、または管理者の監督下にある場合を除き、午後3時20分までに校舎を出て、校庭から出てください。すべての活動グループには、教師または管理者が同席する必要があります。午前中に校舎に入った生徒は、校舎内に留まらなければなりません。

欠席中の課題

3日以上学校を欠席する場合は、保護者の方に欠席期間または予定されている欠席期間分の課題をリクエストしていただけます。当日中に課題を受け取りたい場合は、午前9時までに学校にご連絡ください。保護者の方は、午後2時45分から3時15分の間に、生徒の課題をメインオフィスまでお持ちください。保護者の方から課題のリクエストがあった場合、生徒は授業に戻る前に課題を完了させるようにしてください。補習は生徒の責任です。この責任を果たさない場合、未完了の課題は不合格となる場合があります。生徒は必ず担任に連絡し、以下のガイドラインに従って課題を完了させるようにしてください。

- 1 日欠席の場合 :翌日に補習。
- 2 日欠席の場合 :2 日間補習。
- 3 日以上連続欠席の場合 :管理者が期間を延長しない限り、欠席日数は補習日数と同じになります。

生徒が欠席することが分かっている場合（例 :校外学習、コンサートなど）、欠席前に担任と相談して補習の手配を行ってください。インターネットにアクセスできるご家庭は、毎日Progressbookで宿題をご確認ください。

皆勤賞

優秀な出席率を維持することは、学業成績の向上に大きく貢献すると考えています。欠席・遅刻なしの完全出席を維持した生徒には、学年末に表彰と賞品を授与します。

宗教表現の日

幼稚園から高校3年生までの生徒は、信仰、宗教的もしくは精神的な信念体系を理由に休暇を取得したり、宗教宗派、教会、その他の宗教的もしくは精神的な団体の後援の下で行われる活動に参加したりするために、学年あたり最大3日間の宗教的表現日を免除されます。この方針および州法のすべての要件に従い、このような理由で欠席した生徒には学業上のペナルティは課されません。承認された宗教的表現日に生徒が欠席した時間数は、

オハイオ州改正法典3321.191(C)(1)に基づく保護者への通知の目的で欠席時間を決定する計算に考慮されます。

宗教的表現の日を欠席した場合、生徒には、以下の手順に従って、試験やその他の学業上の要件に関して代替の配慮が提供されます。

- 1.保護者は、代替宿泊施設を希望する特定の日付を、学年開始後 14 日以内、または学年開始後に学区に転校または入学する場合には入学日から 14 日以内に、最大 3 日付で書面で学校長に通知する必要があります。
- 2.校長は、生徒の宗教的または精神的信念体系の真摯さを問うことなく、申請を承認します。校長は、申請書に署名のある保護者に連絡を取り、申請内容を確認する場合があります。保護者が署名に異議を唱える場合、申請は却下されることがあります。
- 3.承認された欠席が矛盾を生じる場合、校長は適切な教室の教師は、当初予定されていた日時の前または後に代替試験やその他の学業上の要件の日時をスケジュールできます。

生徒は、承認された宗教的表現日のために欠席した日に、学校間活動またはその他の課外活動に参加することが許可されます。

以下は、オハイオ州教育労働省がまとめた主要な宗教的祝日の一覧です（ただし、一部を網羅したものではありません）。この一覧は網羅的なものではなく、学生の信仰、宗教的、または精神的信念体系における祝日や祝祭日が一覧に記載されていない場合、学生の配慮を求める申請を拒否するものではありません。

ロシュ・ハシャナ	イード・アル＝フィトル
ヨム・キプール	ペサハ（過越祭）
ディワリ	聖金曜日
ハヌカ	イースター
ラマダン	イード・アル＝アドハー
灰の水曜日	

遅刻

生徒が遅刻または早退する場合は、生徒本人と保護者（あるいはその両方）が出席管理事務所で出欠の記録をとらなければなりません。度を越した遅刻は、学校運営上の懲戒処分の対象となる場合があります。生徒が最終ベルから30分以内に学校に到着した場合、「遅刻」と記録されます。最終ベルから30分以上遅れて到着した場合、上記の出席手順（保護者が欠席を証明する書類を提出）に従ったかどうかに応じて、正当な理由による欠席または正当な理由のない欠席として扱われます。

生徒が授業終了時刻の30分前までに学校を退校した場合、その生徒は「早退」とみなされます。生徒が30分以上前に退校した場合、

下校時間の分単位で、欠席は上記の出席状況が守られたかどうか（親/保護者が欠席を説明する文書を提出）に応じて、正当な理由による欠席時間または正当な理由のない欠席時間のいずれかとして反映されます。

競技資格

生徒の資格の有無は、秋のスポーツシーズンの開始と同時に決定されます。7年生に初めて入学する生徒は、過去の学業成績に関わらず、最初の学年区分から入学資格を得られます。その後、7年生または8年生が入学資格を得るには、現在在籍しており、直前の学年区分に在籍していたことが条件となります。

学生は、当該評価期間中に成績を取得した科目の75%で合格点を取得し、「F」が1つ以下である必要があります。また、GPAは1.5以上である必要があります。

自転車

自転車ラックは皆様の利便性のために設置されています。自転車には鍵をかけてください。自転車が盗難または破損した場合、学校は責任を負いません。学校敷地内では、自転車ラックへの自転車の持ち込みおよび返却は生徒ご自身で行ってください。電動自転車、電動スクーター、その他の電動移動手段の持ち込みは禁止されています。スケートボードはスケートボードラックにのみ保管してください。いかなる理由においても校内への持ち込みは禁止されています。

バス

バスに乗ることは、スクールバスに乗って学校まで行く資格のある人に与えられる特権です。バスで学校に到着した生徒は、到着時刻から下校後にバスが出発するまで、校庭から出ることはできません。スクールバス内での行動に関するルールについては、運転手から生徒に説明があります。学区の車両で生徒を送迎する際は、すべての学校の規則と手順が適用されます。バスの安全に関するルールは、フィンドレー市のすべてのスクールバスに掲示されています。

以下の規則は、学区が管理する交通機関における生徒の行動に関するもので、生徒、運転手、および道路上の他の運転手の安全と福祉を確保し、学校車両の安全と適切なメンテナンスを確保することを目的としています。

生徒は以下のことを行います。

1. バス停に近づくときは注意し、対向車に向かって左側を歩き、高速道路を横断する前に両方向の道路が空いていることを確認し、交通量の多い場所で待機してください。
2. バスが時刻表通りに運行できるよう、バスの到着予定時刻より前にバス停に到着してください。

3. 交通の無い場所で待機し、バス停では次のような行動は控えてください。
個人の生命、身体または財産を脅かすもの
4. 指定された座席に座る（運転手は生徒に座席を割り当てる権利がある）5. 他の生徒を邪魔したり混雑させたりすることなく、指定された座席に直接移動し、
車両が走行している間は着席したままです。
6. 教室での行動、または管理者や輸送担当者によって定められたバスでの行動を遵守し、運転手の指示に迅速かつ丁寧に従います。
7. 車内を清潔に保ち、つまずきやすいものを置かないでください。8.
医療上の理由で必要な場合、または適切な付き添い人、学校管理者、または学校職員の監督下で地区が通常以外の移動として許可した場合を除き、バス内での飲食は控えてください。9. 汚い言葉の使用、大声での会話、笑いは控えてください（不必要な混乱は運転手の注意をそらし、重大な事故につながる可能性があります）。10. 座席に座り、通路や出口を空け、頭、腕、手を常に車内に保ち、車内や車外に物を投げたり渡したりしないでください。
11. 他の生徒や運転手に対して礼儀正しく接してください。12. 備品は家の大切な家具と同じように扱ってください（スクールカーを損傷することは厳禁です）。
13. 学生に処方薬が必要な場合を除き、車内でのニコチン製品の使用や、アルコールや薬物の所持は控えてください。14. 膝の上に載せられる物、または州法に従って車内に保管できる物のみ車内に持ち込んでください。

生徒は車両が停止するまで座席に留まり、速やかに降車し、車両が出発するまで指定された安全な場所で待機してください。寮側へ向かうために道路を横断しなければならない生徒は、運転手の合図を待ち、自身も交通状況を確認した上で車両の前を横断してください。

学生がこれらの規則に従わない場合は、学区が管理する交通機関を利用する権利を失う可能性があります。

カフェテリアの期待

学生はドネル大学のカフェテリアを敬意と責任を持って利用することが期待されます。つまり、学生はカフェテリアを自宅やレストランの食事スペースと同じように扱うということです。
生徒は各自が自分のエリアを清掃することが求められます。ルールはカフェテリアまたは休憩時間の監視員によって定められ、遵守することが求められます。飲食物はカフェテリア内にとどめておいてください。

化学健康政策

フィンドレー市立学校では、化学物質による健康に関する方針は、学生に対する薬物乱用に関する総合的な教育（健康カリキュラム、カウンセリング サービス、レッド リボン ウィークなど）の一部であり、課外活動の規則と資格に関する方針 IGDJA、IGDJA-R、および IGDJA-E によって補完されるものであると考えています。
この方針はまた、教育委員会が学生を支援する学生プログラムへの支援を改めて強調している。

そして親たちが今日の特有の課題の多くに対処できるよう支援します。

学校の生徒によるアルコールや違法薬物の使用が見られたり、その疑いがあることは深刻な問題であることを認識し、薬物のない学校を実現するための積極的な取り組みとして抑止プログラムを導入します。

同様に、薬物を使用する生徒は、自分自身の安全だけでなく、他の生徒の安全も脅かします。このプログラムの目的は4つあります。

1. 全生徒の安全を確保する。
2. 生徒が違法薬物の使用を拒否する正当な理由を与えることで、同調圧力の影響を弱める。
3. 薬物を使用する生徒に薬物治療プログラムへの参加を奨励する。
4. 薬物やアルコールの使用が脳の学習中枢に及ぼす影響を防ぎ、生徒がフィンドレー市立学校の在学中に学業上の潜在能力を最大限に発揮できるようにする。

そのため、生徒が学区に転入する各シーズン、活動、または学年度中、運動競技、課外活動への参加、および/または駐車許可証の購入を希望するすべての生徒は、違法薬物または禁止薬物の検査を受ける必要があります。対象となる生徒は、学年度中いつでも無作為に検査を受けるか、または疑いがある場合に検査を受ける場合があります。薬物検査を拒否する生徒は、フィンドレー市学区の運動競技関連の課外活動、運動競技以外の課外活動への参加、または駐車許可証の購入を許可されない場合があります。

キャリア。

完全な化学物質健康ポリシー IGDJA については BoardDocs にアクセスしてください。完全な化学物質健康手順については IGDJA-R および IGDJA-E を参照してください。

大学単位プラス

オハイオ州のカレッジ・クレジット・プラス (CCP) プログラムは、大学進学準備が整った7年生から12年生の生徒が、参加する大学や短期大学のコースを受講することで、高校と大学の単位を同時に取得できる制度です。このプログラムは、対象となる生徒の学業の厳しさを促進し、教育機会を拡大することを目的としています。フィンドレー高校では、毎年度、翌年度に向けたCCP説明会を開催します。

資格と入学 学生は、州が定め

るCCPの資格要件を満たし、参加大学に入学許可を得てコースを受講する必要があります。入学要件は大学によって異なるため、詳細は各大学にお問い合わせください。CCPへの参加を希望する学生は、前学年度の夏学期／秋学期／春学期の場合は4月1日まで、春学期のみの場合は11月1日までに、フィンドレー高校へ参加の意思を通知してください。

コース。

クレジット変換

CCP コースで取得した単位は、次のように高校の単位に換算されます。

- 3単位以上の大学コース = 1.0 高校カーネギー単位
- 2単位の大学コース = 0.67 高校カーネギー単位
- 1単位の大学コース = 0.33 高校カーネギー単位

費用と経済的責任 CCPコースは、ほとん

どの場合、学生とそのご家族に費用はかかりません。ただし、以下の状況では、ご家族に費用が発生する場合があります。• 学生が CCPコースに不合格になった場合、または大学が

公表している退学期限後に退学した場合、学生または保護者が関連するすべての費用を負担する場合があります。

• 私立教育機関では追加料金が発生する場合があります。• 学生が年間30単位の上限を超えた場合、学生とご家族は、上限を超えた分のCCPコースの履修を負担することになります。これらの上限には高校のコースも含まれます。年間のCCPの上限時間を計算するには、スクールカウンセラーとよく相談ください。

• 大学までの往復の交通手段は学生とその家族の責任となります。

コースの期待と評価

- 生徒はフィンドレー高校の学業面および行動面での期待に従わなければなりません。
学校および参加している大学。
- 学生は、コース終了時に必要なEOC試験を完了することが求められる場合があります。
卒業要件を満たすため。
- CCP科目の最終成績は、高校と大学の成績証明書に同じ形式で記録され、両方のGPAに反映されます。(例 :不合格となり「F」の成績が付与された科目は、高校と大学の成績証明書の両方に「F」として記載され、「F」の成績は両方のGPAに反映されます。)

CCPの保護観察と解雇

中国共産党の保護観察

以下の場合、学生は CCP 保護観察の対象となります。

- 大学の累計GPAが2.0を下回る。• 1年間に2つ以上の科目を中退
または単位を取得できない。
学期。

保護観察中の学生は、次の行為を行った。

- 1学期に1つのコースしか登録できません。• 以前登録した科目と同じ科目のコースに登録することはできません。
D、F、または単位なしを取得しました。
- 累積GPAが2.0に達するか、
より高い。

CCPIによる退学処

分学生が2学期連続でCCP保護観察処分を受けている場合、CCPから退学処分となります。退学処分を受けた学生は、次の学期の大学の授業を受講することはできませんが、学区に対して退学処分の不服申し立てを行うことができます。

詳細については、生徒と家族は Findlay High School - Counseling & Academics の Web サイト - College Credit Plus タブにアクセスするか、スクール カウンセラーに相談するか、 <https://www.ohiohighered.org/ccp> でオハイオ州の CCP ガイドラインを確認することができます。

拘留

教師は生徒を最長60分間居残りさせる権限を有します。24時間前までに書面で通知できない場合は、教師が保護者に電話で連絡します。居残りは、生徒は学校行事に参加する前に必ず予約を取ってください。生徒は様々な理由により、行政居残りを命じられることがあります。行政居残りは放課後に行われ、最長50分間続きます。

ディレクトリ情報と学生記録

学区は、生徒の教育記録に含まれる以下の個人情報を「ディレクトリ情報」として指定しています。

1. 生徒の名前
 2. 公認の活動やスポーツへの参加
 3. 生徒の功績に対する賞や栄誉
 4. 卒業年月日
- 上記の情報は、営利目的の計画や活動の要請の場合、または保護者/対象となる生徒が各学年

の10月1日までに学校に書面で、事前の書面による同意なしに当該情報の一部または全部を学校が公開しないよう通知した場合、または開示が法律で禁止されている場合を除き、事前の書面による同意なしに開示されます。

フィールドトリップ

- 次の4つの条件のいずれかに該当する場合、学生はフィールドトリップに参加することを許可されないことがあります。
1. 学生が過去9週間にコースに不合格になった。
 2. 学生は現在、コースに不合格です。
 3. 校外学習が行われる予定だった成績評価期間中に、生徒は停学処分を受けた。
 4. 学生に未払いの授業料がある。

無料または割引のランチ

経済的な問題により学校給食の購入が困難な場合は、カウンセラーに相談し、無料または割引の給食を申請してください。連邦規則により、すべての学校は無料または割引の給食を申請する者の所得を確認することが義務付けられています。給食室が申請を承認するまで、保護者の方はお子様に給食費を支払わせるか、昼食を持参させなければなりません。申請書は本部事務室で入手できます。

表現と集会の自由

口頭および書面による表現と集会

学校は、その性質上、自由な探究と自由な思想表現を奨励しなければなりません。生徒は、自己表現において、中傷的、冒涇的、またはわいせつな発言を控え、討論グループに参加するすべての人が自由に自己表現できる機会を与えられるよう行動する責任を負います。憲法で保障されている他のすべての権利と同様に、個々の市民が平和的に集会する権利は、その行使が他の市民の権利と自由を侵害する場合には、慎重に制限されます。意見や信念を表明する適切な時と場所があります。学校や教室の運営を妨げるデモは禁止されています。

象徴的表現と関連活動

象徴的表現とは、個人の考え、感情、態度、意見を、言語表現そのものよりも遠い形で、しかし言語表現そのものと同様に有効な方法で伝える表現です。生徒は、健康や安全を危険にさらしたり、財産を損なったり、他者の活動を妨害したり、わいせつな内容でない限り、象徴的表現を自由に決定することができます。

評価基準

以下は、フィンドレー市教育委員会が採用した評価基準です。

- A – 92 – 100% (4ポイント)
- B – 82 -- 91% (3ポイント)
- C – 72 – 81% (2ポイント)
- D – 62 – 71% (1ポイント)
- F – 61%以下 (0点)

ホールとパス

クラス移動のための時間を設けています。生徒が直接次のクラスに移動すれば、十分な時間があります。

生徒は、登校前、昼食前後、放課後にのみロッカーに留まるように指導されています。叫んだり、走ったり、ふざけたり、階段から飛び降りるなど、怪我につながる可能性のある行為は禁止されています。生徒が教室を離れる際は、必ずパスを携帯してください。パスに記載されていないロッカー、トイレ、その他の場所への寄り道は禁止されており、違反した場合は懲戒処分の対象となる場合があります。生徒は手足を離さず、廊下を安全に移動してください。パスやクラス替え時間は、生徒の行動に対応するために変更または廃止される場合があります。

医療サービス

シラミ

生きたシラミが見つかった生徒は、保護者同伴で下校となり、シラミ駆除のため1日追加で登校許可が与えられます。生徒は必ず保護者同伴で登校してください。

次の登校日に保護者に連絡し、学校看護師または校長の指名による再検査を受けてください。
生きたシラミが見つからず、卵の除去に目立った改善が見られた場合、生徒は学校に再入学できます。

薬と学校看護師

登録看護師が定期的に校舎内にいます。看護師が不在で体調が悪くなった場合は、出席管理事務所に届け出てください。生徒は、いかなる種類の薬や錠剤、薬物も学校に持ち込むことはできません。これには市販薬や処方薬が含まれます。学校で処方薬を服用する必要がある場合は、保健室に保管してください。学校に着いたら、出席管理事務所に薬を持ってきてください。薬を学校で調剤するには、保護者または後見人/医師の同意書に署名する必要があります。最終フォームでは、生徒がクリニックで市販薬を受け取るための許可に保護者も署名する必要があります。生徒は市販薬を持ち込んだり、他の生徒に配布したりすることはできません。学校での薬に関する教育委員会の方針は、州法に準拠しています。

ヘルプセッション

すべての教師は、面談時間、ホームベース時間、そして放課後を通して毎日生徒のサポートにあたります。一部の教師は、毎週定期的にサポートセッションを設けています。

優等生名簿

優秀成績者 - 平均 3.5 ～ 4.0。
成績優秀者 - 平均 3.0 ～ 3.49。
優秀生徒のリストは地元の新聞に掲載されます。

アカデミックレター - 平均点3.5以上を維持した学生にはアカデミックレターが授与されます。これは最初の3つの評価期間を通じて累積されます。

コースで「D」または「F」を取得した学生は、優秀者名簿または功労者名簿に載る資格がありません。

悪天候

悪天候の場合、学校の遅刻や休校に関する情報は、学区の通信システムを通じて発信され、学区のウェブサイトやソーシャルメディアページに掲載され、地元のテレビ局やラジオ局でも共有されます。天候上の緊急事態により、日中に学校を休校にせざるを得ない場合もあります。その場合は、学区の通信システムを通じて保護者の皆様にご連絡いたします。

学校が閉鎖されると、中学校レベルではすべての課外活動および運動プログラムも中止されます。

未完了

9週間の「I」評価期間終了後2週間以内に、未完了の課題をすべて補習してください。2週間以内に必要な課題を補習しない場合、成績表の「I」は「F」に変わります。ただし、医師の診断により、重篤な病気が長期にわたる場合は、この規定に例外が認められます。

科目の単位を取得するには、学生は学期末または学年末までに履修要件を修了する必要があります。長期の病気やその他の特別な事情がある場合、教員および担当校長の承認を得て、履修要件の修了に要する期間の延長または履修要件の変更が認められる場合があります。

図書館

図書館は授業時間中、学生の利用のために開館しています。他の学生の安全のため、貸出資料は必ず期日までに返却してください。貸出資料が紛失など何らかの理由で返却できない場合は、直ちに図書館員にご連絡ください。

ロッカー

各生徒にはロッカーと適切な暗証番号が割り当てられます。他の生徒とロッカーを共有してはいけません。ロッカーの暗証番号は個人情報です。生徒同士でロッカーの暗証番号を交換しないよう、強く推奨します。すべてのロッカーは教育委員会の所有物であり、違法または不適切な物品の保管には使用できません。ロッカーが不適切または違法に使用されていると疑われる場合は、捜索が行われる場合があります。ロッカーに関する問題は、本部事務室に報告してください。生徒は盗難防止のため、学校のロッカーと体育館のロッカーを必ず施錠してください。

落とし物

学校で見つけた物はすべて、すぐに出席管理事務所に届け出てください。生徒は登校前または登校後に事務所で紛失物を確認することができます。忘れ物をしていないか定期的に確認することが重要です。持ち物には身分証明書を付けておくことをお勧めします。

財布やハンドバッグは、所有者に返却するために、適切な身分証明書の所持の有無を検査します。所有者の同意がないものは、定期的に地元の団体に寄付するか、廃棄されます。

ニュース記事と写真リリース

時々、写真家、地元の新聞社、学校関係者によって生徒の写真が撮影され、学校のプレスリリース、学校出版物、学校のソーシャルメディア サイトで使用されることがあります。

学生向けプログラムやその他の特別イベントでは、ビデオ撮影が行われる場合があります。保護者の方は、最終フォームを通じて、お子様の写真と氏名を写真の公開に使用することに同意しないことを選択できます。

保護者／生徒の金銭的義務と罰金 授業料／罰金、その他の金銭的義務（募金活動、

絵画、図書費など）の支払いを滞納している生徒は、学業成績の記録が保留される場合があります。金銭的義務の不履行は、毎年生徒に発生します。フィンドレー高校の永久記録と卒業証書は、幼稚園から高校3年生までのすべての金銭的義務が履行されるまで保留される場合があります。問題がある場合は、保護者は校長にご連絡ください。

個人財産

フィンドレー市立学校は、学校敷地内にある私物について一切責任を負いません。私物には、楽器、衣類、自転車、電卓、宝石、携帯電話、iPod、携帯ゲーム機、個人用電子機器などが含まれますが、これらに限定されません。ドネル校の職員は、生徒の皆様に貴重品を学校に持ち込まないように勧めています。

生徒の進級・留年6年生、7年生、8年生では、主要4科目

（国語、数学、理科、社会）のうち3科目で平均点「D」以上を取得する必要があります。その年度のコースに合格するには、3つのクオリティポイントを取得する必要があります。年度末の2つの評価期間で不合格になった場合、そのコースの単位は取得できません。その年度の成績要件を満たさない生徒は、留年の対象となります。サマースクールが開講されている場合、その授業に合格することで成績要件を満たすことができます。

最終的な昇進/残留の決定は、校長、教師、保護者によって行われます。

トイレ

トイレは、放課前、放課後、または昼食時にご利用ください。授業を中断してトイレに行く必要がある生徒は、教師の署名入りの許可証を所持してください。生徒は3～5分以上教室を離れないでください。トイレの清掃にご協力ください。

ゴミ箱にペーパータオルを捨てたり、トイレを水洗にしたりしないでください。生徒は他者のプライバシーを尊重し、配慮しなければなりません。問題が発生した場合、職員がトイレの使用頻度と時間を監視する場合があります。

学校カウンセリングサービス

カウンセラーは中学生に様々なサービスを提供しています。カウンセラーは、キャリア、個人・社会、学業の3つの分野に焦点を当てています。面談を希望する生徒は、放課前または放課後、クラス替え時、またはカウンセラーにメールで予約することができます。授業中に個別に面談を希望する場合は、担任の先生、カウンセラー、または学校関係者の承認が必要です。個別面談に加え、カウンセラーは教室で授業を行ったり、グループ指導を行ったりすることで、生徒の学力向上を支援します。カウンセリングプログラムに関する詳細情報やリソースについては、学校ウェブサイトのカウンセラーのウェブサイトをご覧ください。

自殺介入手順

生徒が自傷行為に深刻な危険を及ぼす場合、スクールカウンセラーは適切な精神科医療機関を紹介します。この介入は、校長と保護者に通知されます。保護者が適切な精神科医療機関の勧告に異議を唱える場合、校長は適切な公的機関または民間機関に連絡することができます。評価を要請された場合、お子様の復学許可を得ることは、ご家族の責任となります。

学校保険

学年初めに、すべての生徒に料金を支払って特別な包括的ポリシーを利用できます。

学校の写真

学期の初めに、全生徒の個人写真が撮影されます。生徒はこれらの写真を購入することができます。

学校の安全と訓練

学校の安全は私たちにとって非常に重要です。ドネル中学校の全員の安全を守るために、皆様のご協力をお願いいたします。生徒の皆様は、ドアを開けたままにしたり、ドアを開けたままにしたり、ドアの中に物を置いたりしてドアのロックをバイパスしたりしないでください。ドアを開けたままにしたり、ドアを開けたままにしたり、ドアの中に物を置いたりしてドアのロックをバイパスしたりする行為を行った生徒は、校舎の警備員によって特定され、懲戒処分を受けます。来訪者は必ず正面玄関からご入場ください。

火災訓練、竜巻訓練、封鎖訓練など、学校内の安全訓練のアナウンスが行われた際は、生徒、職員、来訪者、その他校舎内にいるすべての人が学校関係者の指示に従う必要があります。生徒は会話を控え、指定された場所に迅速かつ静かに、秩序正しく移動しなければなりません。これらのガイドラインに違反した生徒は懲戒処分を受ける場合があります。

学校用品

学用品リストは、毎年7月1日に学区のウェブサイトで公開されます。学用品の入手についてご不明な点がございましたら、カウンセラーにご相談いただくか、事務室までお越しください。

搜索と押収

以下の規則は、特定の生徒に割り当てられた学校所有物、および/または学校敷地内に持ち込まれた物品、または学校関連の活動に持ち込まれた物品の搜索および押収に適用される場合があります。•学校所有物の一般的な搜索は、学校当局に

よっていつでも実施され、

法執行当局の支援を受ける場合があります。

- 学校は、教育委員会の方針に従い、警察犬によるパトロール活動の実施を含め、警察の捜査に全面的に協力します。• 学校当局が、生徒自身または他者への差し迫った危害を防止する必要があると判断した場合、他の市民と同様に、生徒に対しても尋問や搜索が行われることがあります。

いかなる人物搜索も非公開で行われる場合があります。

- 学校当局が、以下のものを所持していると合理的に疑う可能性がある。
特定の項目は規則違反となります。
- ロッカーは教育委員会の所有物であり、生徒には保管用のロッカーが割り当てられます。
アイテム。検索はいつでも実行できます。
- 違法な物品（銃器、武器、発煙弾）または他人の安全やセキュリティを脅かすと合理的に判断されるその他の所有物は、学校当局によって押収され、関係する生徒と保護者に通知される場合があります。
- 教育のプロセスを妨害または阻害するために使用されるアイテムは、学生の所有物から没収されます。

標識掲示ポリシー

すべての標識は掲示前に校長の承認を得る必要があります。

生徒の活動／競合についてフィンドレー市立学校では、

生徒に様々な活動への参加を奨励しています。運動競技、学術団体、音楽演奏グループなど、様々な活動があります。これらの活動は、子どもたちの社会性、運動能力、認知能力の成長に貢献します。生徒が複数の活動に参加する場合、活動間の競合が生じることがあります。アドバイザーとコーチは、会議や練習の競合に対処するために協力することが求められます。競技が競合する場合は、学校の方針により、学業関連の競技を優先します。

監視カメラ

生徒の皆様には、学校内および／または隣接敷地内における行動が防犯カメラによって監視される可能性があることを十分ご承知おください。FERPA（連邦情報保護法）に従い、監視カメラの録画や資料へのアクセスは禁止されています。

テクノロジー

コンピュータ技術とネットワークのガイドライン

ドネル中学校では、数百人のユーザーがコンピューターリソースを共有しています。ネットワークとワークステーションの整合性を保護するため、ドネル中学校のテクノロジー機器を使用する際は、責任ある、倫理的な、そして利他的な行動をとることが求められます。各生徒は、生徒の許容される使用とインターネットの安全に関するポリシー（EDE および EDE-R）を読み、遵守する責任があります。遵守しない場合は、懲戒処分、および／またはコンピューター権限、アカウントへのアクセス、および／またはインターネットの使用の喪失につながる可能性があります。複数回の違反は、残りの学期、学年、または高校生活を通じてコンピューターの使用を禁止される可能性があります。違反は、適切な法的機関に通報され、その他の法的措置が取られる場合があります。これらの規則に対する例外は、教師の直接の監督下でのみ許可されます。

1. 18 歳未満の生徒のコンピュータ ネットワークおよびインターネット アクセスを拒否するには、保護者がメイン オフィスにある「オプトアウト」フォームに記入する必要があります。
2. 生徒は、割り当てられたパスワードを使用してのみ、学区ネットワークやインターネットにアクセスできます。ネットワークアカウント、他人のアカウント／パスワードの使用は禁止されています。学生は、他のユーザーに自分のパスワードの使用を許可してはなりません。
3. 学生は、他の学生に情報を求めたり、入手したりすることを勧めたりしてはならない。他のユーザーに属するファイル、データ、またはパスワードをコピーしたり、変更したり、ネットワーク上で他のユーザーを偽ったりすること。
4. 学生は機密情報をアップロード、ダウンロード、作成、または送信することはできません。有害なコンポーネントや破損したデータ、または他人の財産を破壊したり、破壊したりすること。破壊行為には、ソフトウェア、ハードウェア、データなどをハッキング、改変、損傷、破壊しようとする悪意のある試みが含まれます。

- 他のユーザー、他のネットワーク リソース、またはインターネット上またはネットワーク外にあるものを破壊するためにネットワークを使用すること。
5. 学生は、ネットワークの運用を低下させたり妨害したりするような、あるいは限られたリソースを浪費するようなコンピュータ活動に従事してはなりません。例えば、トナーやプリンターの用紙を無駄にしたり、「迷惑メール」を送信したりしないでください。
 6. 学生は自分のサーバーアカウントに作業内容を保存し保管することが推奨されます。
学校職員が生徒のコンピューターファイルやメッセージを閲覧する可能性があることを理解します。
素材は、品質基準や適切な内容について審査される場合があります。また、ファイルは、嫌がらせや脅迫にあたる内容、あるいは下品な内容やわいせつな内容について審査される場合があります。
 7. 学生はコンピュータ機器の識別ラベルを変更したり削除したりしてはなりません。
 8. 生徒はネットワーク接続されたソフトウェアや学校提供のソフトウェアを使用することができます。プログラム
コースの課題の一部として学生が作成したレポートは、必要に応じて教師の監督の下で実行される場合があります。
 9. 生徒は学校のデスクトップ コンピューターにプログラムをインストールしたり削除したりすることはできません。
生徒は、Findlay City Schools の生徒と保護者向けの 1:1 ハンドブックに従って、学校に適したプログラムを Chromebook にダウンロードしてインストールできます。
 10. 学生は、個人的な使用または
他人が使用するために。
 11. 生徒と教師の間のすべての電子通信は、
地区に割り当てられたアカウント。
 12. 学校のコンピューターの使用に関する学校のポリシーに違反しているのを見つけた場合、またはコンピューターが何らかの形で故障した場合には、生徒は学校職員に知らせる必要があります。
 13. 学生は、法律または学生規律規定によって所有または使用が禁止されている物質を販売するために、学区のコンピューターまたはネットワークを使用することはできません。
 14. 学生は、性的に露骨な内容のコンテンツを作成、コピー、閲覧、送信、ダウンロード、アップロード、または求めることはできません。
露骨、わいせつ、ポルノなどの素材、および/または爆発装置を作成するための設計や詳細情報を含む素材、犯罪行為やテロ行為を助長する素材、脅迫的な素材、または法律や学生規律に違反する、または他者に違反を勧めるその他の素材。
 15. 学生は著作権で保護されたコンテンツをアップロード、ダウンロード、コピー、再配布、再出版することはできません。
著作権者の明示的な書面による許可なく、資料を複製、転載、複製することはできません。学生は、資料の使用について明示的な許可がない限り、ネットワーク上のすべての資料は著作権法によって保護されているものとみなすべきです。
 16. 学生はウェブプロキシを使用して資料、ファイル、コンテンツを閲覧、ダウンロード、検索することはできません。
不快、中傷的、誤解を招く、権利を侵害する、または違法となる可能性のある情報、ソフトウェア、その他のコンテンツ、またはカリキュラムに関連しないコンテンツや情報を閲覧またはアクセスすること。
 17. 学生は、インターネットフィルタを回避するためにプロキシアプリケーションを使用することを禁止されています。
Androidスマートフォン、iPhone、iPodなどの個人用デバイスを使用して、学校が禁止しているコンテンツにアクセスすることはできません。このような行為を行った生徒は、フィンドレー市立学校の無線ネットワークからブロックされます。違反した生徒は、無線ネットワークに再び接続するために、技術サポートスタッフにデバイス（Androidスマートフォン、iPhone、iPodなど）を登録する必要があります。
 18. 学生は不適切な写真やメディア（ポルノ、
電子的に、危険または憎悪に関連するあらゆる種類のメディアを配信すること。これには、他の個人（学生または従業員）に対するネットいじめや嫌がらせ、または投稿／送信が含まれます。

動画、画像、音声、テキスト、その他のメディアを含むがこれらに限定されない、他人に関するあらゆる種類の情報を本人の同意なしに公開すること。

電話/携帯電話

学校事務室の電話は業務使用のみを目的としており、緊急時のみ生徒が使用できます。授業時間中に事務室の電話を使用する必要がある場合は、事前に職員の許可を得てください。個人の携帯電話は、放課前と放課後にのみ使用できます。携帯電話は終日、電源を切ってロッカーに保管してください。携帯電話に関するポリシーについては、生徒行動規範をご覧ください。

教科書

フィンドレー市教育委員会は、すべての生徒に図書を提供しています。割り当てられた図書については、各自の責任となります。ご自身の安全のため、図書が支給されたら、指定された場所にインクで署名してください。図書を紛失、破損、または損傷した場合は、弁償していただく必要があります。

転校

転校を計画している場合、またはその他の理由で転校しなければならない場合は、ドネル中学校を退学する前に必要な手続きについて校長にご連絡ください。学校の記録を新しい学校に転送できるよう、適切な手続きを必ず行ってください。転校費用が発生しないよう、生徒はすべての教科書と学校所有の教材を転校前に必ず返却してください。

訪問者

すべての訪問者には敬意を持って接してください。他校からの生徒の来訪者は、いかなる場合も許可されません。他の来訪者は、必ずメインオフィスでチェックインし、記帳の上、必要な来訪者パスを受け取ってください。保護者の方も歓迎いたしますが、事前にご連絡いただけると幸いです。

労働許可証

オハイオ州改正法典第4109章によると、14歳から17歳までの未成年の学生は、就労するために労働許可証を取得する必要があります。労働許可証が必要な学生は、メインオフィスで申請書を入手できます。申請書のすべての記入が完了したら、学生は申請書をメインオフィスに持参してください。学生の労働許可証申請書は、校長に提出され、承認されます。承認には最大5営業日かかる場合があります。承認後、申請書はオハイオ州商務省にオンラインで提出され、学生には雇用主に提出するためのコピーが渡されます。労働許可証申請が承認されるためには、学生は良好な状態である必要があります。

学校への在籍および出席状況に関する成績。成績が良好でない学生は、許可証を取り消される場合があります。

差別禁止ポリシー

理事会は、学生、職員、求職者、一般市民、そして理事会と取引のある個人を含むすべての個人が尊厳と敬意を持って扱われる環境の実現に尽力します。理事会は、人種、肌の色、国籍、祖先、市民権、宗教、性別（性的指向および性自認を含む）、経済状況、年齢、障がい、兵役経験、または合法的に取得した遺伝情報に基づく差別を禁止します。

理事会は、以下の個人を地区のコンプライアンス責任者として任命します。

- 副学長 - タイトル VI コーディネーター
- 副学長 - Title IX コーディネーター
- 特別教育ディレクター/コーディネーター - セクション504コーディネーター

コンプライアンス担当者は、アメリカ障害者法第 II 条、1964 年公民権法第 VI 条および第 VII 条、1972 年教育改正法第 IX 条、1973 年リハビリテーション法第 504 条、および 1975 年雇用年齢差別禁止法など、適用される連邦および州の法律と規制に準拠するための学区の取り組みを調整する責任を負います。

コンプライアンス担当者は、差別または報復に関するあらゆる問い合わせや苦情に迅速かつ公平に対応する責任を負います。詳細については、取締役会のポリシーACおよびAC-Rを参照してください。

理事会は、タイトルIXコーディネーターの選定を含む、セクハラに関する独自の方針と手順を制定しています。すべてのセクハラに関する報告は、セクハラに関する方針と手順に従って処理されなければなりません。

苦情は下記までご連絡ください。

第6条（人種、肌の色、国籍）	タイトル IX（性別）	第504条（障害）
クリスタ・クレイツ・ミラー 1100 ブロードアベニュー オハイオ州フィンドレー 45840 419-425-8212	クリスタ・クレイツ・ミラー 1100 ブロードアベニュー オハイオ州フィンドレー 45840 419-425-8212	アンジェラ・ギーザー夫人 1100 Broad Ave. オハイオ州フィンドレー 45840 419-425-8238

このハンドブックに掲載されている校則は、連邦、州、または地域の規制を継続的に遵守するために必要な変更の対象となり、学校の通常の運営に必要な見直しと修正の対象となります。すべての行動規則をガイドブックに書き込んで掲載することはできませんが、生徒には合理的な規則に従い、他者の権利を侵害しないことを期待しています。このハンドブックの規定は、学校、学校敷地内、学校主催の活動、または学校関係者の権限に従うその他の場所で有効です。これらの規則は、学区が所有する土地、所有する土地の視界内、または学区が管理する土地で発生した活動または事件に不正行為が関連する場合、学校敷地外でも適用されます。これらの規則は、不正行為が学区の役員または従業員、または学区の役員または従業員の土地に向けられた場合にも、学校敷地外に適用されます。